

IRG52 大会の沼津での開催からウェビナー開催への変更について

第52回国際木材保存会議（IRG）大会については、本年10月31日より11月4日まで静岡県沼津市にて開催すべく準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めず、かつ海外からわが国への渡航制限が継続されている状況から、本年6月のIRG本部理事会の判断により、今回は沼津での開催は執り行わず、代わってIRG52 ウェビナー大会として11月1日、2日の2日間開催されることになりました。

IRG52 日本大会については、京都でのIRG22（1991）、奈良でのIRG32（2001）に続く3度目の日本での開催であり、秀峰富士山を望む沼津の地で、日本の木材保存に係る技術・研究の先進性を世界に示し、また、世界の新しい知見を日本の技術・研究開発に活かす機会として期待しておりましたので誠に残念なことではありますが、日本大会組織委員会でも、この方針の受け入れを決定いたしました。

沼津でのIRG52 日本大会の開催に向けては、関係団体、各学協会、さらに関係企業からの多大な協力を頂いて準備を進めてきたところでありますが、このような仕儀となり、多くの海外からの参加者と親しく交流し、意見や情報を交換する機会が失われることはまことに痛恨であります。関係各位におかれましては、今回の変更について、何卒、ご理解を頂きたいをお願い申し上げます。

また、当協会ならびに組織委員会におきましては、IRG52 ウェビナー大会の開催について、IRG本部に協力し、その中では、日本から積極的な発表も予定されています。ウェビナー大会への参加については無料です。参加登録については、別途、連絡をさせていただきますので、多くの方々にご参加をいただきたく、宜しくお問い合わせ申し上げます。

なお、当協会では、2025年度開催のIRG56に再度日本での開催を立候補することを7月1日開催の理事会で決定致しました。このことについては、今秋のIRG52 ウェビナー大会の総会で正式に決定されましたら、皆様にもご連絡を差し上げますので、IRG56の開催に向けて、引き続きご理解とご協力の程、宜しくお問い合わせ申し上げます。

2021年7月

公益社団法人日本木材保存協会

会長 鮫島正浩

IRG52 日本大会組織委員会

委員長 今村祐嗣